

ぼくは13歳 職業、兵士。

あなたが戦争のある村で生まれたら

毎年50万人、毎分1人の命が小型兵器によって失われる。軽くて扱いやすい銃:AK47の登場で、戦う兵士の年齢が下がり、子どもたちの体に心に深刻なダメージを与えている。これら子ども兵が抱えた問題の解決への糸口は、そこから目を背けずに知ること、そしてそれを理解すること。

先進国に生まれたからこそ、私たちにもできることはたくさんあるはず。

鬼丸昌也+小川真吾／著
合同出版（2005年）

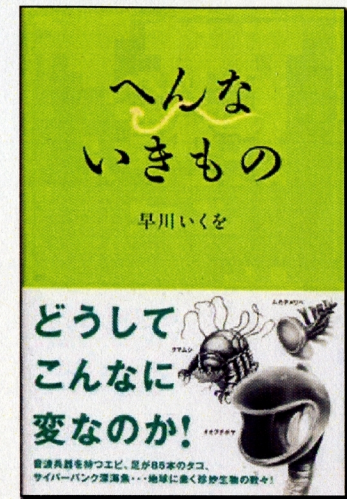


へんないきもの

世に生き物は多かれど、
こんなにヘンなやつらがいるとは！
SFのエイリアンもなんのその、
こいつらのほうがよっぽど怖い
...やつもいる。

知ってたはずの、あの生物の、
知らなかった、こんな実態も満載。
解説文がいい味だしてます。

早川いくを／著
寺西晃／イラスト
バジリコ（2004年）



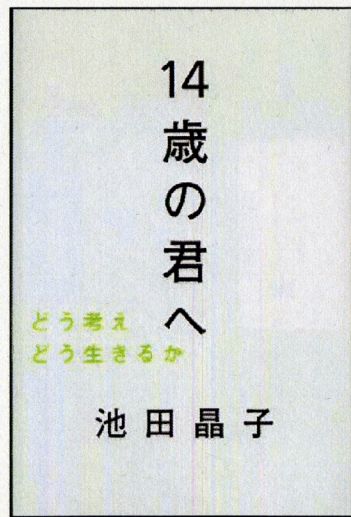
14歳の君へ

どう考えどう生きるか

「思う」とことと「考える」ことはぜんぜん違う。君が持たなければならないのは誰にとっても正しいといえる考えだ。自分が本当に幸福になるためには、自分の頭を使って深く考えるということをしなくてはならない。

〔意見〕〔宇宙〕〔言葉〕...などのテーマにそって「考える」ことの練習をしてみよう。そして、自分で気づくことの大切さを感じてみよう。

池田晶子／著
毎日新聞社（2006年）



またまたへんないきもの

へんなやつらは、まだまだいた！
今度はより身近な生き物の
本当の姿もあばかれる。
あなたが見たことがあるものは
どのくらいありますか？
次に新しい“へんないきもの”を
発見するのは、
将来のあなたかもしれません。

早川いくを／著
寺西晃／イラスト
バジリコ（2005年）

